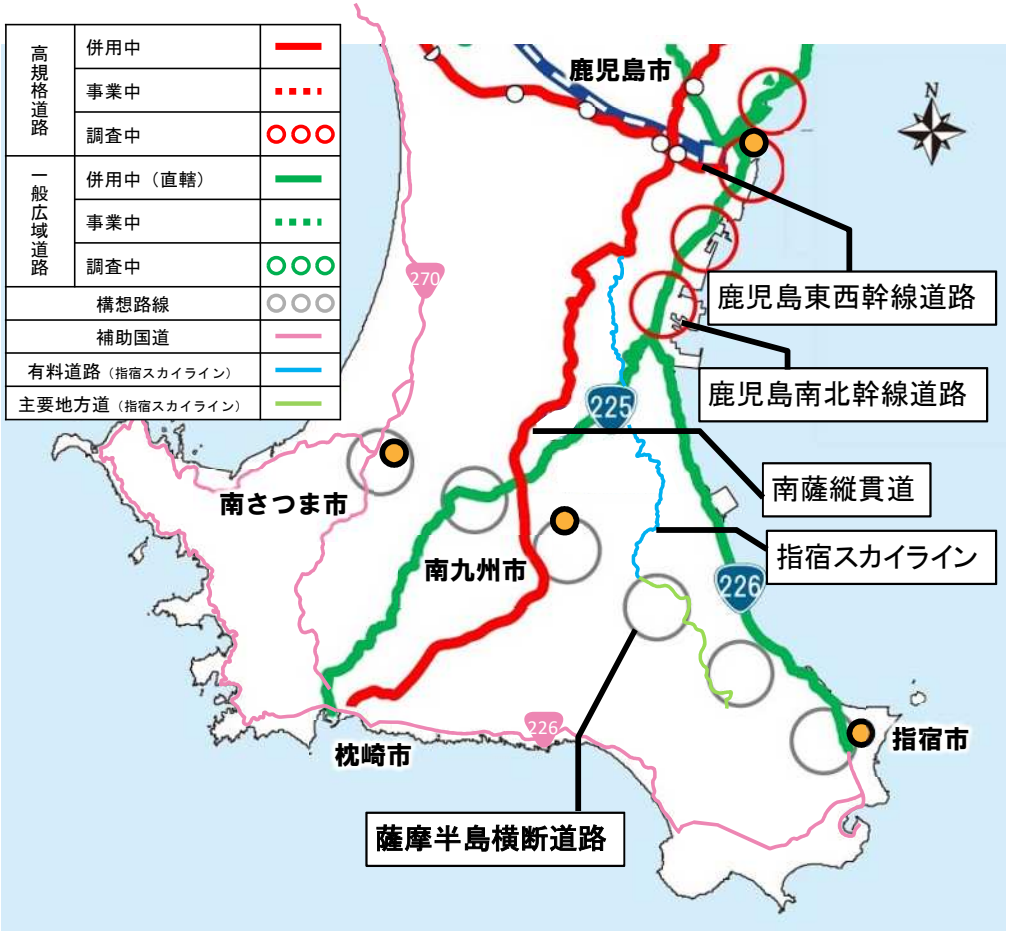
これまでの経緯と本日の検討内容

資料－1

○　令和４年３月２９日「薩摩半島横断道路第１回検討会」において，南薩地域の現状について確認し，薩摩半島横断道路の具体化に向け検討を進めることを確認。
○　第２回検討会においては，南薩地域の現状・課題，広域道路ネットワークの現状・課題，薩摩半島横断道路の整備効果などについて検討。

【広域道路計画ネットワーク図】



【出典】九州地方新広域道路交通計画（令和3年7月策定）に、一部加筆

【経緯と本日の検討内容】

令和3年6月　かごしま新広域道路交通ビジョン・計画策定
● 薩摩半島横断道路を「構想路線」に位置づけ

令和4年3月　薩摩半島横断道路第1回検討会
①検討会規約について
②南薩地域の概要について

令和6年3月　薩摩半島横断道路第2回検討会（今回）
① 南薩地域の目指す姿
② 南薩地域の現状・課題
③ 広域道路ネットワークの現状・課題
④ 薩摩半島横断道路の整備効果

資料－２

南薩地域の現状・課題
南薩地域の広域道路ネットワークの現状・課題

南薩地域の目指す姿

資料－2

南薩地域の「稼ぐ力」の向上

南薩地域　地域振興の取組（R5.3）

■南薩地域の基幹産業である農林水産業，観光関連産業の更なる振興

■高い技術力を有する製造業の競争力強化や将来を担う新たな産業創出



南薩地域の優れたポテンシャル

農林水産業

■多くの日本一を誇る農林水産物


知覧のお茶


オクラ，スナップエンドウ

観光関連産業

■豊かな自然，国や県を代表する観光資源が豊富


指宿温泉郷


知覧武家屋敷

製造業

■地域の優れた製造業


鰹節
※全国シェアの約7割

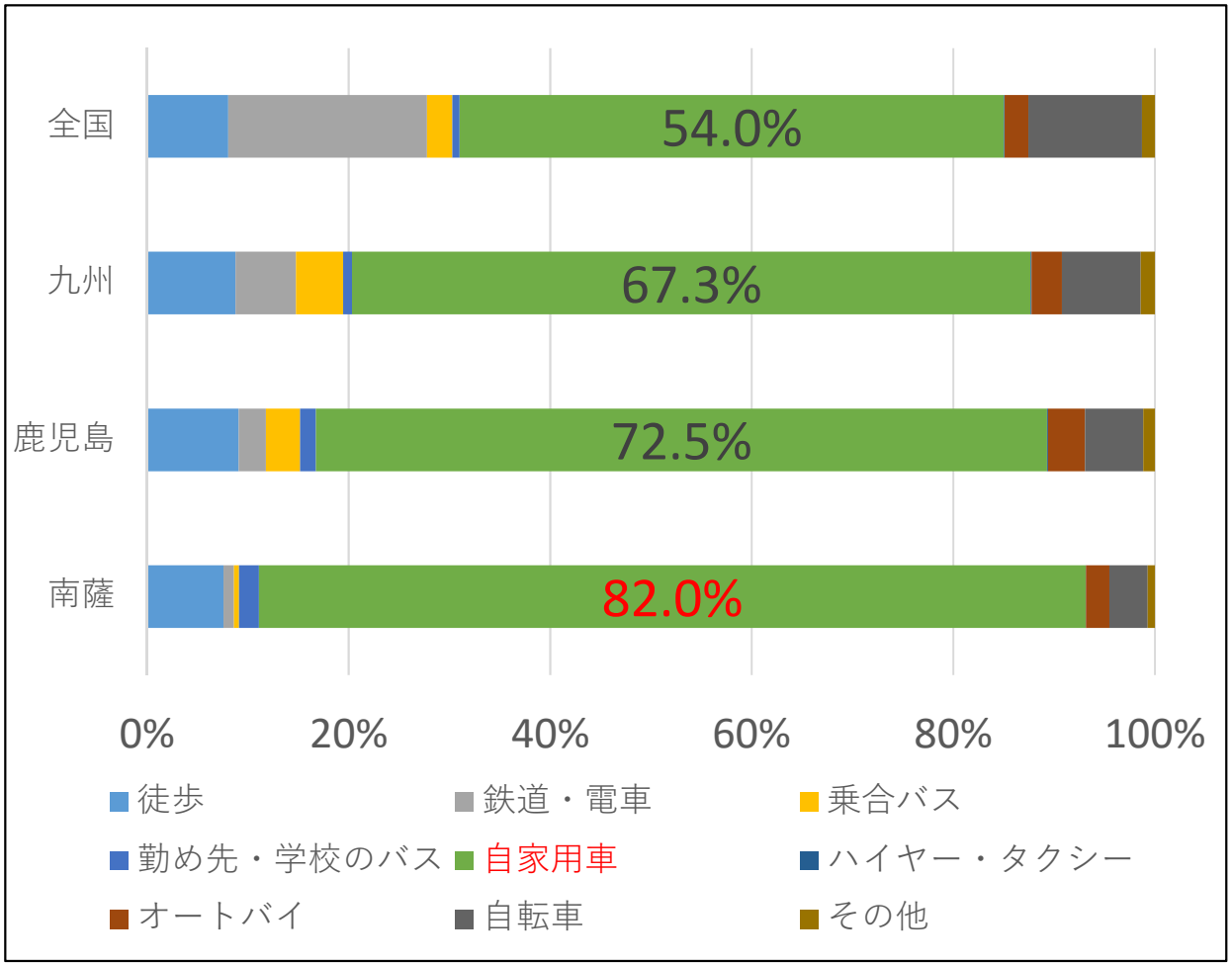

食肉加工
※畜産王国かごしまの約2割

地域の現状と課題（交通特性）

資料－2

○ 公共交通機関は，ＪＲ指宿枕崎線や鹿児島市発着の便数が少ないバスのみであり，移動手段は自動車交通への依存度が高い。
○ 半島地域という地理的条件から，高速道路ＩＣへのアクセスが困難。

従業地･通学地による交通利用分担率



※R2国勢調査結果より「徒歩のみ」または「交通手段が1種類のみ」について集計

九州域内における半島地域の時間圏域

（R3.7 九州地方新広域道路交通ビジョン抜粋）



枕崎市～東京都中央卸売市場　約1,400km，約19時間
（トラック輸送，高速道路利用時）

地域の現状と課題（産業・物流）

資料－2

○ オクラやお茶など多くの農産物の出荷量が全国一を誇り，カツオ節の生産量は枕崎市・指宿市で全国シェアの７割。
○ 豚・肉用牛の畜産飼養頭数，と畜頭数は，南九州市・指宿市を中心に県全体の約２割を占め，畜産王国鹿児島の一翼を担う。
○ 枕崎漁港・山川漁港の保税蔵置場や水産物･畜産物関連の輸出認定登録加工施設など農林水産業関連の拠点も多く立地。
○ 枕崎市は，鰹由来の出汁や焼酎など食品・飲料の製造が盛ん。南さつま市には，光ディスク修復装置世界一の企業が立地。
○ 幹線道路には，線形不良箇所も多く，事故による通行止（渋滞）や商品の品質低下が課題。
○ 生産地･製造拠点が広範囲に立地。幹線道路へのアクセス性が不十分 ○ 鰹節製造では，原料の多くを博多･焼津方面から調達。生産コストを逼迫
○ 食肉製造業では，地域内のサプライチェーンの走行性，安全性が課題 ○ トラックドライバー不足が進む中，モーダルシフトの取組も重要視

青　果　物

■南薩地域の主要青果物
［指宿市］ｵｸﾗ，ｽﾅｯﾌﾟｴﾝﾄﾞｳ，そら豆　（全国１位）
［南九州市］さつまいも　（県内１位）
［南さつま市］らっきょう　（全国４位）

指宿市の主要青果物

主要青果物	全国シェア	全国順位
スナップエンドウ	46%	第1位
オクラ	31%	第1位
そら豆	18%	第1位

畜　産　品

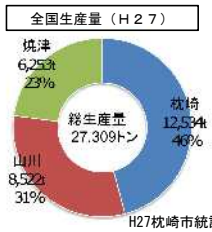
■肉用牛・豚
・飼養頭数・と畜頭数は，県内の約１～２割を占める。
・南九州市，南九州市には多くのと畜場，輸出認定食肉加工施設が立地。
・JA食肉かごしま南薩工場を核とした地域は，国の「農林水産物･食品の輸出拡大実行戦略」において有数の牛肉の輸出産地に登録。

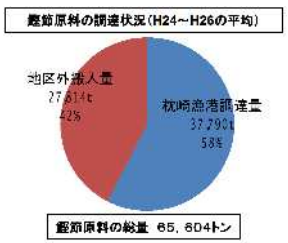
肉用牛・豚の飼養頭数

	肉用牛	豚
枕崎市	3,600	23,600
指宿市	24,500	47,500
南さつま市	8,140	9,170
南九州市	16,320	89,900
南薩合計	52,560	170,170
鹿児島県	337,800	1,199,000

水産加工品

■全国三大生産地
・枕崎（５割），山川（３割），焼津（２割）
・枕崎，山川は，生産加工場，原料保管倉庫等を備えた生産拠点
・枕崎では原料の約４割超を区域外から調達



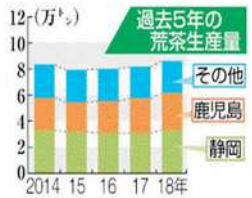


お　　茶

■全国二大生産地
・静岡県（４割），鹿児島県（３割）

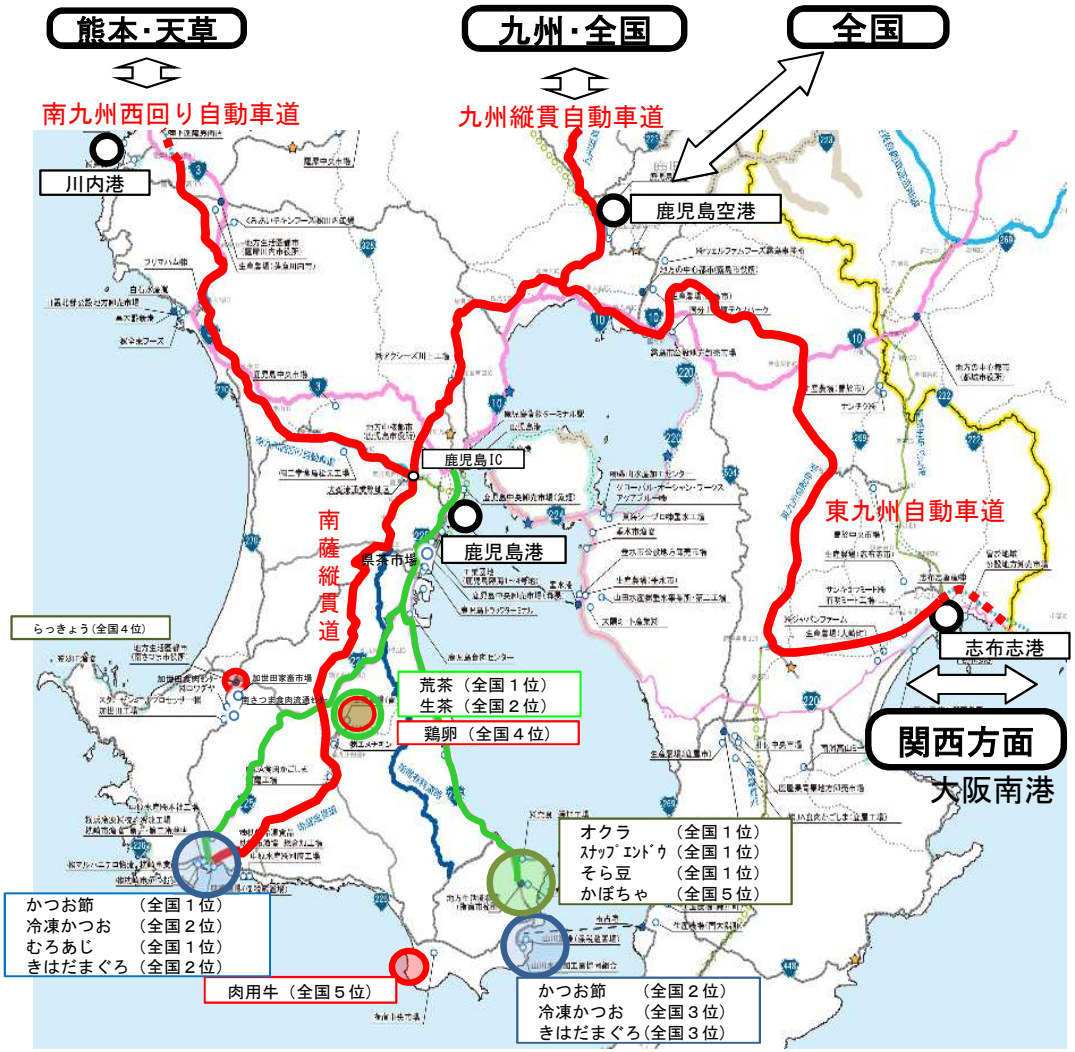
■県内の流通状況
・仕上茶（３割），荒茶（７割）
ドリンク需要を背景に荒茶のまま県外出荷
・南九州市は，県内生産量の約５割を誇る

全国生産量



県内生産量

順位	市町村	生産量
1位	南九州市	12,928t (48.6%)
2位	志布志市	3,844t (14.5%)
3位	枕崎市	1,534t (5.8%)
3位	霧島市	1,534t (5.8%)
5位	曽於市	1,134t (4.3%)
6位	鹿児島市	917t (3.4%)
7位	日置市	887t (3.3%)



※資料における輸送ルートは，各種公表資料や地元市へのヒアリングに基づき想定したものであり，今後の社会情勢の変化等により変わることがある。

地域の現状と課題（観光・人流）

資料－2

- 南薩地域沿岸は，国立自然公園・県立自然公園に指定され，豊かな自然や良好な景観に恵まれている。
- 指宿市温泉郷，知覧の武家屋敷など国際的に重要な観光地のほか，吹上浜，開聞岳，知覧茶畑，枚聞神社，特攻平和会館など多様で魅力的な多数の観光地が広く分散。宿泊施設が多い指宿市を中心とした観光ルートが発達。
- 県外各地や鹿児島空港から遠く，南さつま市～指宿間のアクセス性が悪いため，南薩地域全体としては日帰り観光が中心。
- 大手旅行会社が指宿市を拠点とした長期滞在ツアーを企画するなど滞在型観光のポテンシャルが高い。
- かごしま未来創造ビジョン「南薩地域 地域振興の取組方針」では，地域特有の観光資源を生かした広域的な周遊型観光を推進。
- 観光の「稼ぐ力」の向上を目指しているが，回遊性の向上が課題。

広域的な周遊型観光の推進

【南さつま・枕崎地区】食やスポーツ体験



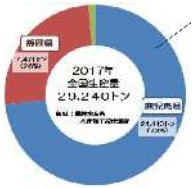


吹上浜（日本三大砂丘）
砂の祭典
観光客数：495千人(H27～R1)



鑑真記念館

全国の鰹節生産量



枕崎4割，山川3割

【南九州地区】歴史的資源，平和教育，農業体験



知覧特攻平和会館
観光客数：714千人(H27～R1)
観光資源台帳：ランクB



知覧武家屋敷
観光客数：1,990千人(H27～R1)
観光資源台帳：ランクA



知覧の茶畑
観光資源台帳：ランクB

【イメージ図】



長期滞在型ツアーパンフレット

年別入込観光客数（宿泊）　単位：千人

	H27	H28	H29	H30	R1
指宿市	683	645	646	682	614
枕崎市	31	29	32	30	32
南九州市	30	27	31	33	37
南さつま市	71	84	80	85	81
合計	815	785	789	831	764

年別入込観光客数（観光地集計）　単位：千人

	H27	H28	H29	H30	R1
指宿市	3,144	3,048	3,176	3,295	3,096
枕崎市	666	641	500	589	567
南九州市	826	660	700	770	633
南さつま市	1,801	1,625	1,656	1,634	1,478
合計	6,437	5,974	6,032	6,288	5,775

（出典：各市統計資料）

【指宿地区】滞在型観光拠点



指宿温泉郷
観光客数：3,113千人(H27～R1)
観光資源台帳：ランクA



砂蒸し温泉



指宿菜の花マラソン



池田湖（九州最大の湖）
観光資源台帳：ランクB



開聞岳
観光資源台帳：ランクA

地域の現状と課題（防災）

資料－２

- これまで台風や大雨の風水害により，甚大な災害が頻発。今後，激甚化，頻発化する異常気象や大規模地震など災害リスクが高まっている。
  ［台風・大雨］将来の外力増により，南薩沿岸域の高潮や万之瀬川・花渡川流域の河川氾濫など，甚大な被害が懸念
  ［大規模地震］種子島東方沖地震や南海トラフ地震では，指宿市や南さつま市を中心に数千棟の建物被害や人的被害を想定
- 国道225号，国道226号は，事前通行規制区間のほか，特殊土壌由来の道路防災リスク箇所や河川氾濫時の通行不能区間が顕在。
- 広域な災害発生時，鹿児島市などからの後方支援や，被災地への救援活動を迅速に展開するため，分散している防災拠点へのアクセス性向上が必要。

南薩地域における災害リスク

南薩地域における災害履歴

年月	災害名	異常気象	浸水戸数（戸）	家屋被害（棟）	死者数
S20. 9	枕崎台風	台風	14	2,098	16
S24. 6	デラ台風	台風	160	29	0
S26. 10	ルース台風	台風	1,475	2,504	67
S40. 8	台風15号	台風	0	312	0
S46. 18	台風19号	台風	2,042	50	1
S58. 6	大雨被害	梅雨前線	2,500	0	1
S60. 8	台風13号	台風	24	1,248	0
H 5. 9	台風13号	台風	2,654	6,890	31
H 9. 9	台風19号	台風	910	248	0
H12. 6	大雨被害	梅雨前線	966	24	0
H27. 8	台風15号	台風	1	113	0

※昭和５８年以前については一部未集計データあり

南さつま市加世田
万之瀬川水系加世田川
梅雨線豪雨氾濫(S58.6)



枕崎市花渡川
梅雨前線豪雨氾濫(H12..7)



国道２２６号
法面崩壊（H30年6月）



越波（R4年9月台風14号）



枕崎市沿岸部 高波状況



H25 鹿児島県地震等被害予測調査
種子島東方沖地震による家屋の損壊戸数

市町村名	最大震度	家屋損壊（棟）		
		全壊	半壊	計
枕崎市	５強	40	200	240
指宿市	６弱	550	1,900	2,450
南さつま市	５強	310	1,100	1,410
南九州市	５強	290	940	1,230
計		1,190	4,140	5,330

※南海トラフ地震では，4市全体で1,660戸の
建物被害，南さつま市で最大津波7.30mを想定

災害医療拠点 薩南病院 （南さつま市）



道の駅 川辺やすらぎの里（南九州市）

国交省が指定する「防災道の駅」のイメージ



✕ 通行不能箇所（河川氾濫） ✕ 異常気象時事前通行規制箇所（雨量，越波）

主要拠点	都市	●	市町村役場（本庁，支所）
	防災拠点	●	災害医療拠点，道の駅，災害時物資集積拠点 指定行政機関，指定公共機関

地域の道路ネットワークに関する意見

資料－2

●産業・物流に関する意見

・地元の特産品の輸送は陸路が頼り。薩摩半島南部に位置する南薩地域から全国への輸送には時間がかかり，高速道路ＩＣへ早く到達できる道路ネットワークが必要。【南さつま市商工会】
・生産者の所得を１円でも向上させるため，陸送コストを下げることが重要。そのためには地元農産品が１日・１時間でも早く市場に到着できる道路ネットワークが必要。【南さつま農協】
・国道２２６号を利用し，鹿児島市や全国各地へ農産品を輸送しているが，カーブも多く，荷崩れによる荷傷み(品質低下)が生じている。【指宿市】
・指宿市の肉牛は，南九州市知覧や南さつま市の食肉加工場に出荷しているが，現道はカーブや交差点も多い。薩摩半島横断道路により，時間短縮，燃料節減，肉牛へのストレスフリーによる肉質改善等の効果が期待できる。【指宿市】
・鰹節の原料である冷凍カツオの多くを県外(博多・焼津)から陸送している。また，鰹節は，南薩縦貫道・九州縦貫道・東九州道を経由し，志布志港から全国各地へ輸送している。生産性向上(陸送コスト縮減)のため，高速な道路ネットワークが重要であり，南薩縦貫道の機能強化が必要である。【枕崎市】
・市内の物流業者は，輸送ルートとして南薩縦貫道，国道２２５号を利用している。【南九州市】
・トラックドライバー不足が深刻であり，現在，鹿児島県本土から全国各地には，高速道路を利用し，志布志港・宮崎港・北九州に輸送し，フェリーを活用したモーダルシフトが進んでいるが，船舶の輸送枠確保が課題である。【ＪＡ物流かごしま】
・薩摩半島横断道路により，指宿方面から全国各地への輸送の効率化が期待できる。【ＪＡ物流かごしま】

●観光・人流に関する意見

・最近では，短い時間で多くの観光地を巡るのがトレンド。観光マップも最近は時間軸で表すようになっている。観光客を呼び込むためには，移動時間の短縮が必要である。【指宿市観光協会】
・南さつま市や南九州市へのルートは色々あるが，わかりづらく案内しづらい。国道２２６号から県道に入ると，線形が悪く幅員が狭いため，大型バスは走行しにくい。と言う声をよく聞く。【指宿市観光協会】

●防災に関する意見

・大規模災害が発生した場合，国道２２５号・２２６号の代替ルート，南薩各地へつながる広域ルートとして南薩縦貫道，薩摩半島横断道路を基軸としたネットワークが重要である。【南さつま市・指宿市】
・道の駅川辺やすらぎの郷は，大規模災害時の防災拠点として機能が期待される。【南九州市】

●その他の意見

・薩摩半島横断道路により，南さつま市の新薩南病院や指宿市の国立医療センターへの搬送時間が短縮され，救急医療圏域の拡大が期待される。【南九州市】
・南薩地域振興局本庁舎の移転も踏まえ，薩摩半島横断道路の検討を進めていく必要がある。【南九州市】

南薩地域 広域道路ネットワーク（現状）

資料－２

○高規格道路　　南薩縦貫道　：速度低下は発生していないが、一部現道活用区間に線形不良箇所が存在。長トリップも担う。
○一般広域道路　国道２２５号：通過する市街地部で速度低下が発生し、線形不良箇所も多数存在。事前通行規制区間も存在。
　　国道２２６号：一部区間で速度低下が発生し、観光期に渋滞も発生。線形不良箇所や事前通行規制区間も存在。
○構想路線　薩摩半島横断道路：通過する市街地部で速度低下が発生し、県道区間に線形不良箇所が存在。

項　目		南薩縦貫道	国道２２５号	国道２２６号	薩摩半島横断道路（現道）	（参考）鹿児島加世田線
延　　長		約５０km	５２．２km	３２．１km（４６．９km）	５２．３km	２７．０km
拠点間連絡		鹿児島ＩＣ ～南九州市･枕　崎　市	鹿児島市～枕　崎　市	鹿児島市～指　宿　市	南さつま市～指　宿　市	谷山IC～南さつま市
トリップ特性		長トリップ	短トリップ	短トリップ	短トリップ	短トリップ
交通量	北断面（台/日）	H27）３，９９４ Ｒ３）５，６２７（1.41）	H27）８，６０４ Ｒ３）８，４４８（0.98）	H27）１９，４７５ Ｒ３）１３，１９３（0.69）	H27）５８４～１３，８４０ Ｒ３）４６０～１１，４５９	H27）１１，３６８ Ｒ３）１１，７５４
	南断面（台/日）	H27）３，２４４ Ｒ３）３，６３８（1.21）	H27）４，４４７ Ｒ３）３，７０８（0.83）	H27）１２，４１２ Ｒ３）１０，７９４（0.87）		
旅行速度		谷山IC～川辺IC：60km以上 川辺IC～枕崎市：50～55km	谷山～川辺IC　：45～50km 川辺IC～枕崎市：40～45km 【速度低下区間】 南九州市・枕崎市市街地（終日）	通常期：40～45km 観光期：日赤喜入基地，瀬々串付近で渋滞 【速度低下区間】 指宿市街地（終日）、瀬々串小入口（朝）、日赤喜入基地（夕）	南さつま市～南九州市：35～40km 南九州市～指宿市：40～45km 【速度低下区間】 南さつま市・南九州市・指宿市市街地（終日）	谷山IC～南さつま市：45～50km
所要時間 ①拠点間 ②谷山IC～拠点間		①５７分 ②５１分	①９１分 ②６０分	①４３分（８４分） ②５２分	①７４分 ②７５分（指宿市） ３９分（南さつま市）	②３２分
道　路　線　形		谷山IC～谷山伊作線交差部間に線形不良が複数	線形不良箇所　多数	線形不良箇所　多数	線形不良箇所　多数	谷山IC～谷山伊作線交差部間に線形不良が複数
事前通行規制		なし	川辺峠付近　３．８km	喜入町前之浜　１．０km	－	－

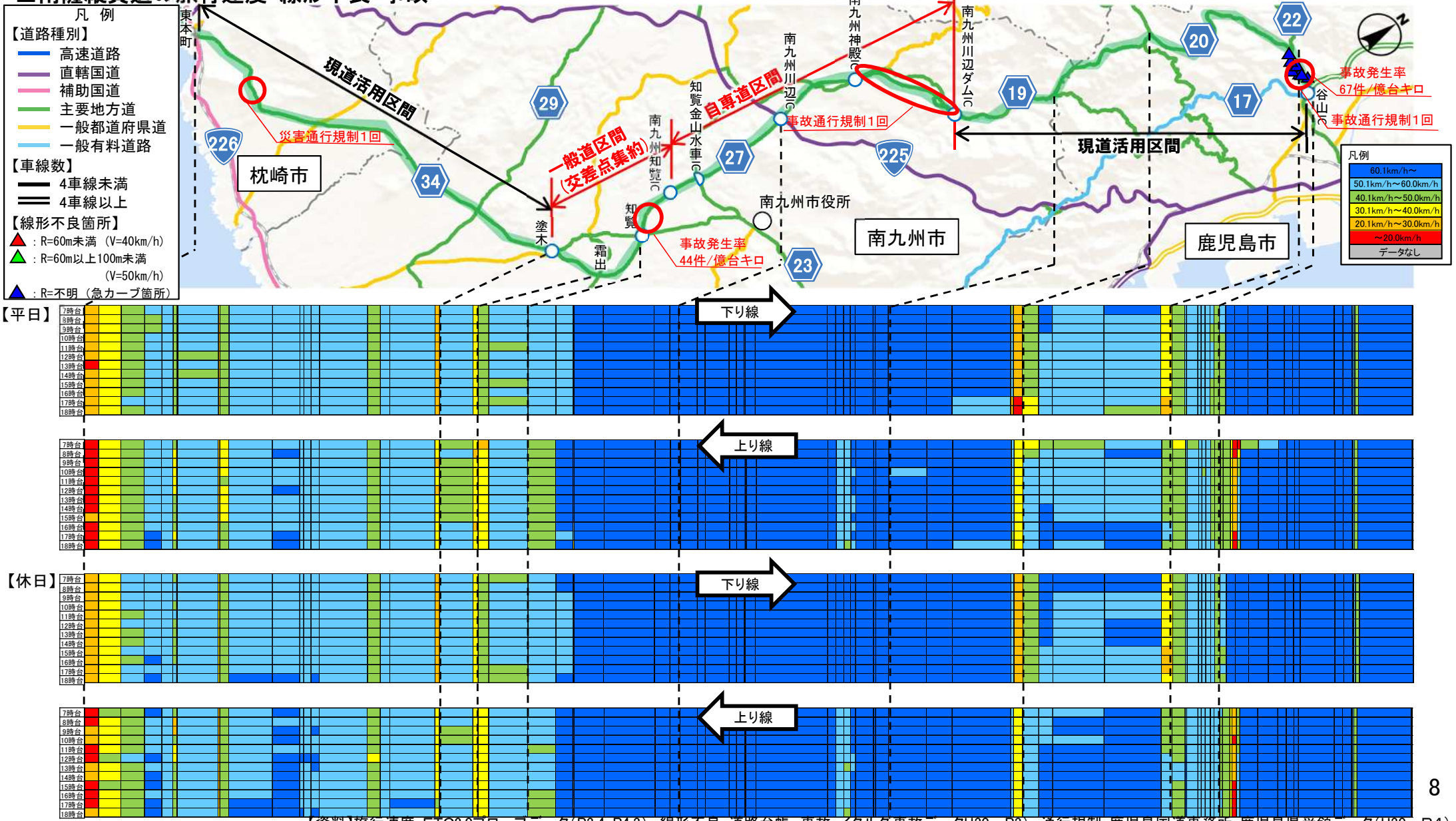
出典：【交通量】全国道路・街路交通情勢調査（※R3は速報値）、【旅行速度】ETC2.0プローブデータ（R3.4-R4.3平日12h・上下線平均）
※国道226号の延長・所要時間は国道225号との重複区間（照国～影原）を含む

南薩地域 広域道路ネットワークの現状（南薩縦貫道）

資料－2

○トリップ特性　　：長トリップが多い。
○交通混雑（旅行速度）：平日・休日ともに速度低下は発生していない。
○交通事故（平面線形）：平面線形不良箇所は谷山ICから県道22号谷山伊作線交差部間で見られ、交通事故は殆ど発生していない。
○道路防災（通行規制）：災害や事故による通行規制は近年殆ど発生していない。

■南薩縦貫道の旅行速度・線形不良・事故



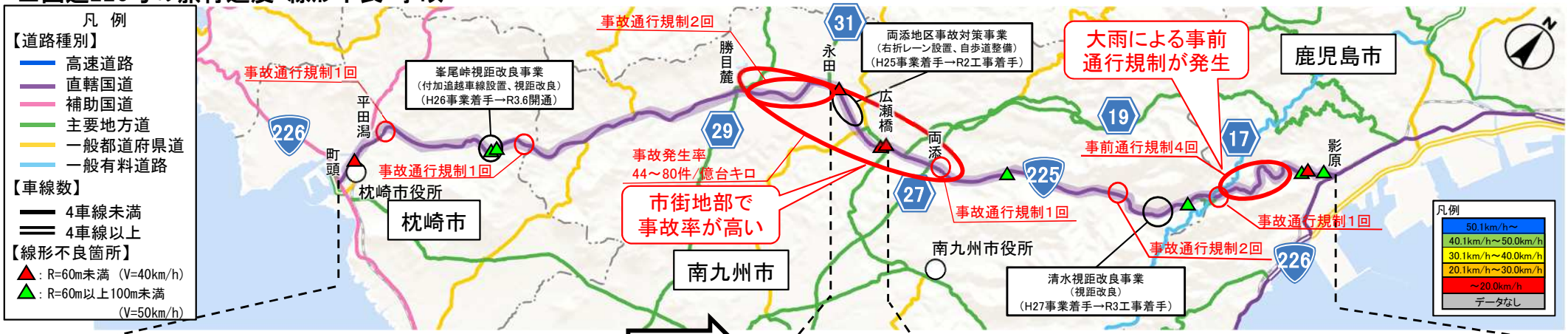
【資料】旅行速度：ETC2.0プローブデータ（R3.4-R4.3）　線形不良：道路台帳　事故：イタルダ事故データH30～R3）　通行規制：鹿児島国道事務所・鹿児島県受領データ（H30～R4）

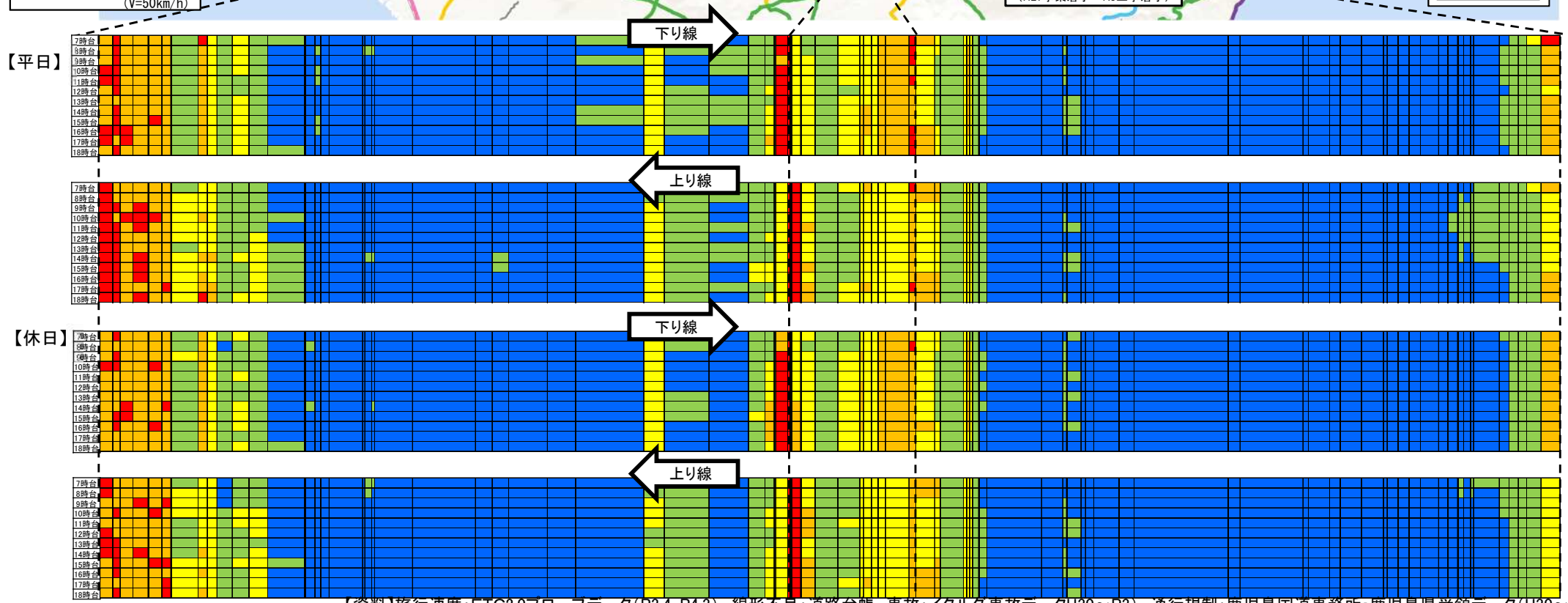
南薩地域 広域道路ネットワークの現状（国道２２５号）

資料－2

○トリップ特性　　：短トリップが多い。
○交通混雑（旅行速度）：平日・休日ともに大きな速度低下は発生していないが、市街地部の交差点の連続による速度低下は発生。
○交通事故（平面線形）：平面線形不良箇所は11箇所と多く、市街地部や主要交差点では死傷事故率も高い。
○道路防災（通行規制）：被災による通行規制は近年発生していないが、事前通行規制や事故で毎年通行規制が発生。

■国道225号の旅行速度・線形不良・事故





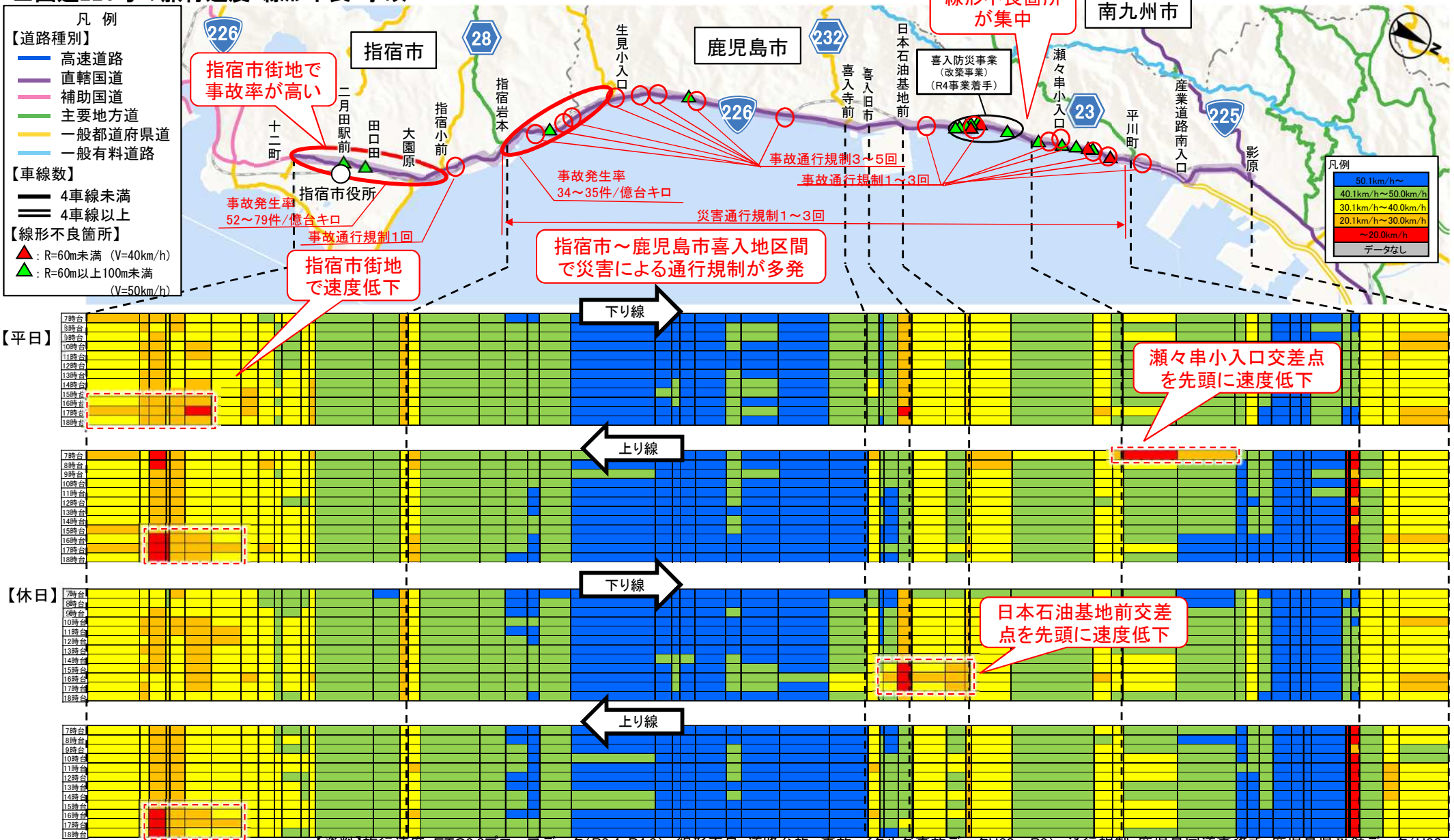
【資料】旅行速度：ETC2.0プローブデータ（R3.4-R4.3）　線形不良：道路台帳　事故：イタルダ事故データH30～R3）　通行規制：鹿児島国道事務所・鹿児島県受領データ（H30～R4）

南薩地域 広域道路ネットワークの現状（国道２２６号）

資料－2

○トリップ特性　　：短トリップが多い。
○交通混雑（旅行速度）：平日・休日夕方の指宿市街地、平日朝の瀬々串小入口、休日夕方の日本石油基地前で速度低下が発生。
○交通事故（平面線形）：平面線形不良箇所は22箇所と多く、市街地部や主要交差点では死傷事故率も高い。
○道路防災（通行規制）：近年でも土砂災害や越波で通行止めが発生しており、交通事故での通行規制も毎年複数件発生。

■国道226号の旅行速度・線形不良・事故



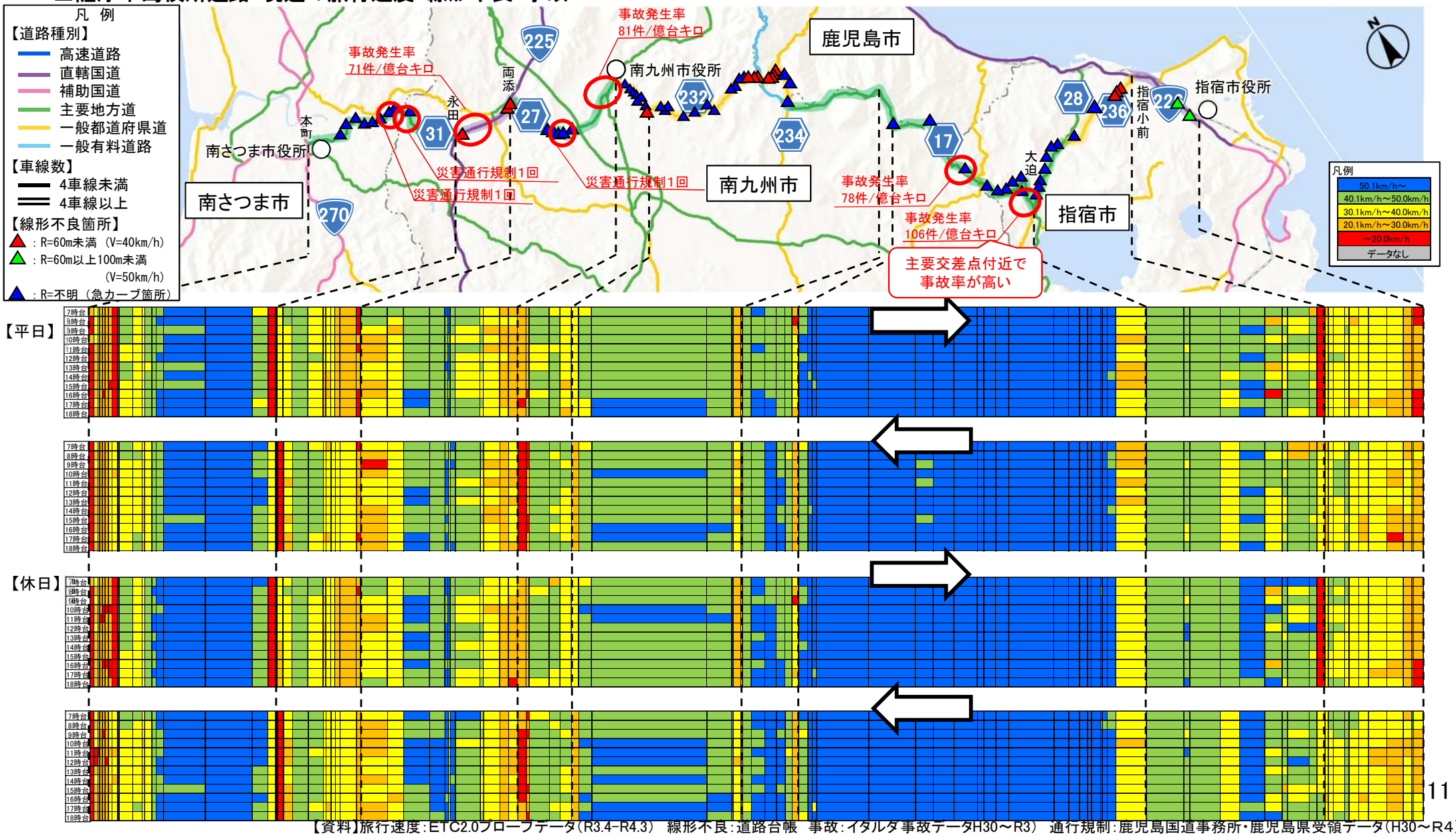
【資料】旅行速度：ETC2.0プローブデータ（R3.4-R4.3）　線形不良：道路台帳　事故：イタルダ事故データH30～R3）　通行規制：鹿児島国道事務所・鹿児島県受領データ（H30～R4）

南薩地域 広域道路ネットワークの現状（薩摩半島横断道路：現道）

資料－2

○トリップ特性　　：短トリップが多い。
○交通混雑（旅行速度）：平日・休日ともに速度低下は発生していないが、市街地部の交差点の連続による速度低下は発生。
○交通事故（平面線形）：平面線形不良箇所は各路線で数多く見られ、市街地部や主要交差点付近では死傷事故率も高い。
○道路防災（通行規制）：災害や事故による通行規制は近年殆ど発生していない。

■薩摩半島横断道路：現道の旅行速度・線形不良・事故



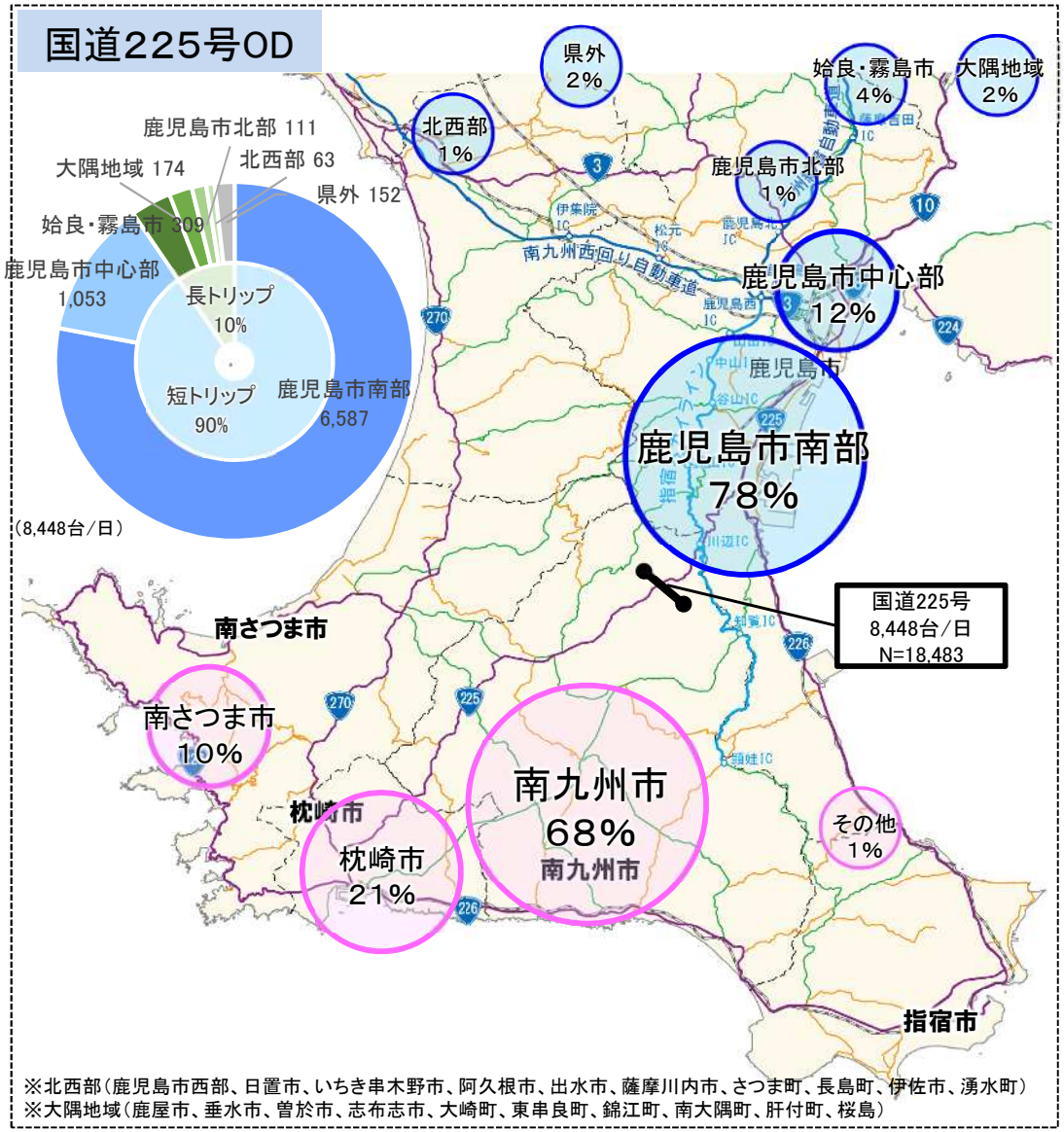
【資料】旅行速度：ETC2.0プローブデータ（R3.4-R4.3）　線形不良：道路台帳　事故：イタルダ事故データH30～R3）　通行規制：鹿児島国道事務所・鹿児島県受領データ（H30～R4）

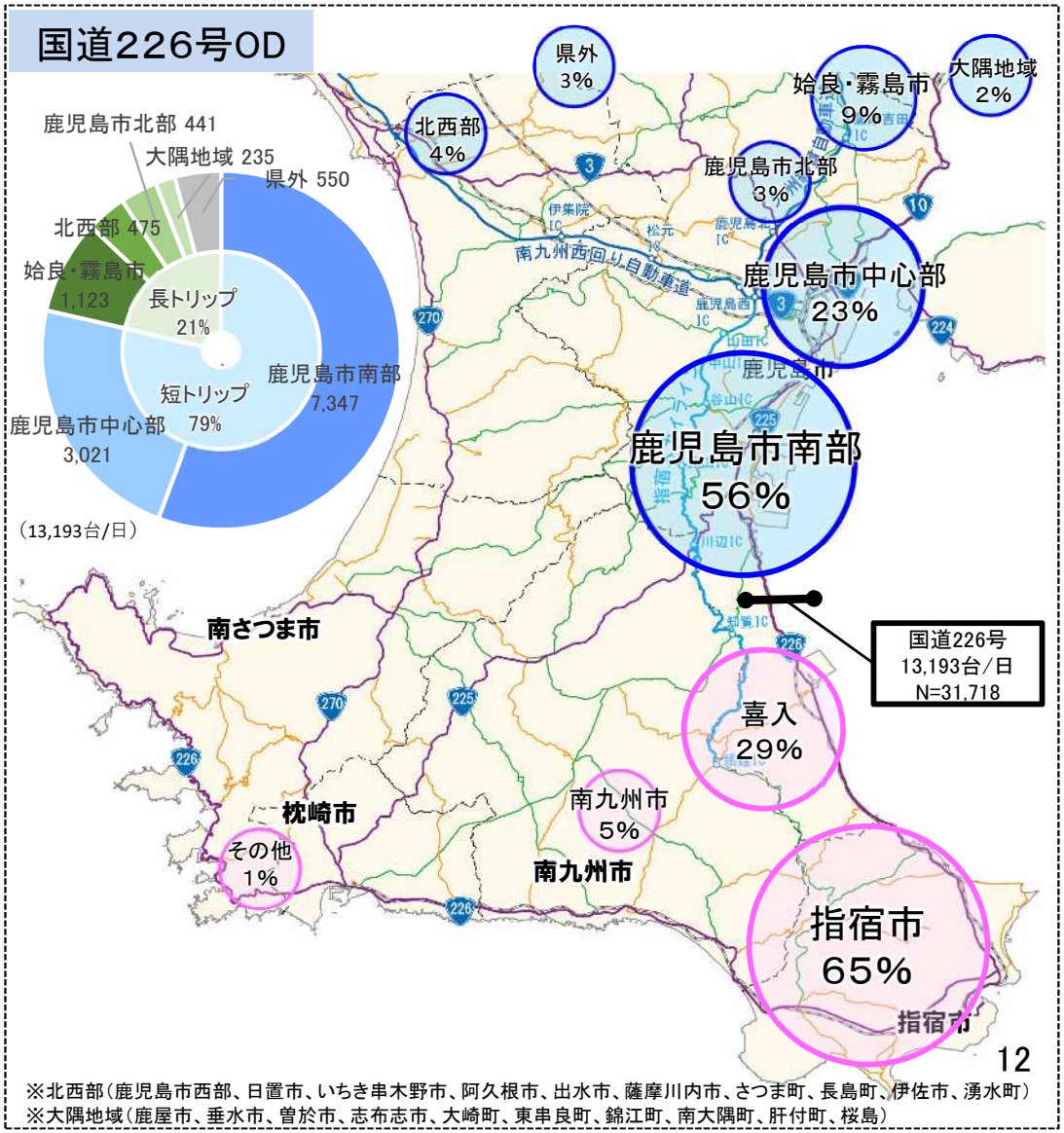
南薩地域 広域道路ネットワークの現状（国道２２５号･国道２２６号）

資料－２

○国道２２５号と鹿児島市の結び付き
・国道２２５号の通過交通は、約9割が鹿児島市南部と中心部を発着地としており、南薩地域（指宿市以外）～鹿児島市の交通を担う。

○国道２２６号と鹿児島市の結び付き
・国道２２６号の通過交通は、約8割が鹿児島市南部と中心部を発着地としており、指宿市・鹿児島市喜入～鹿児島市の交通を担う。





資料：ETC2.0プローブデータ（ R3.10 ～R3.12：平日），R3交通量調査結果

南薩地域 広域道路ネットワークの現状・課題（まとめ）

資料－２

南薩縦貫道の現状・課題

【現状】
起 終 点　鹿児島IC～枕崎市　５０km
トリップ　長距離（高速道路に接続）
交 通 量　3,600～5,600台/日(R３)
速度低下　伊作及び錫山交差点，知覧～枕崎間
所要時間　５７分
線形不良　谷山IC～谷山伊作線交差点，知覧交差点
通行規制　災害事故による規制は少ない
　　事前規制区間なし

【課題】
・谷山IC～谷山伊作線交差点の走行性・安全性の確保
・谷山伊作線交差点，錫山交差点及び知覧交差点～枕崎市街地（現道活用区間）における定時性・速達性の確保

国道226号の現状・課題

【現状】
起 終 点　鹿児島市～指宿市４７（３２）km
トリップ　中距離（都市間連絡）
交 通 量　10,800～13,200台/（R３）
速度低下　日赤喜入基地，瀬々串付近 等
所要時間　８４（４３）分
線形不良　鹿児島～喜入間を中心に２２箇所
通行規制　災害による通行止めが多発
　　事前規制区間 喜入付近1.0km

【課題】
・平川～喜入間の走行性・安全性の確保
・指宿市街地部における交通事故対策
・指宿市～鹿児島市喜入地区間における 交通確保

国道225号の現状・課題

【現状】
起 終 点　鹿児島市～枕崎市　５２km
トリップ　中距離(都市間連絡)
交 通 量　3,700～8,400台/日(R３)
速度低下　南九州市・枕崎市の市街地部
所要時間　９１分
線形不良　川辺峠付近を中心に１２箇所
通行規制　災害や事故による通行止が発生
　　事前規制区間 川辺峠付近3.8km

【課題】
・南九州・枕崎市街地部における交通事故対策
・主要交差点における定時性・速達性の確保
・異常気象時の川辺峠付近の交通確保

薩摩半島横断道路(現道)の現状・課題

【現状】
起 終 点　南さつま市～指宿市 約５２km
トリップ　長距離(南薩縦貫接続に接続)
　　中距離(都市間連絡)
交 通 量　460～11,000台/日(R３)
速度低下　通過する市街地部
所要時間　７４分
線形不良　多数，主要交差点で事故発生
通行規制　災害事故による規制は少ない
　　事前規制区間なし

【課題】
・南さつま市～南九州市～指宿市の各区間における走行性・安全性及び定時性・速達性の確保



【出典】九州地方新広域道路交通計画（令和3年7月策定）に、一部加筆

資料－３

薩摩半島横断道路の整備効果

薩摩半島横断道路において想定される整備効果【産業・物流】

資料－3

〇南薩地域には，日本一の生産量を誇るオクラやお茶をはじめ，カツオ等の水産物の水揚量やラッキョウの出荷量も全国上位。
〇また，地域の豊富な農業漁業資源を活かした食料品加工（カツオ節等）や飲料製造（焼酎、茶等）が盛んな地域でもある。
〇南薩地域の産地を高規格道路網で接続することにより，輸送時間の短縮や新たな販路拡大，地域産業の活性化が期待される。



出典：水産物流通調査（R1）、市町村別農業産出額（推計）（R1）、
水産加工統計（R2）、地域特産野菜生産状況調査（H28）、
枕崎市さつま鰹節協会HP、
作物統計調査(H18)(南さつま市は頴娃町・川辺町・知覧町の合計)

薩摩半島横断道路において想定される整備効果【観光】

資料－3

○南薩地域には，砂蒸し温泉や開聞岳，吹上浜など，地域の自然環境を体験できるスポットや，知覧特攻平和会館や鑑真記念館など，歴史・文化的に重要な施設が存在するなど，多様で魅力的な観光地が多数存在。
○南薩地域における観光地は，アクセス性が悪く，観光旅行等で周遊できるスポットが限られる状況で，薩摩半島横断道路の整備によって，新たな周遊観光ルートの構築が期待される。



❹吹上浜砂の祭典

❺鑑真記念館

❻開聞岳

❼西大山駅



❶知覧特攻平和会館



❷知覧武家屋敷庭園



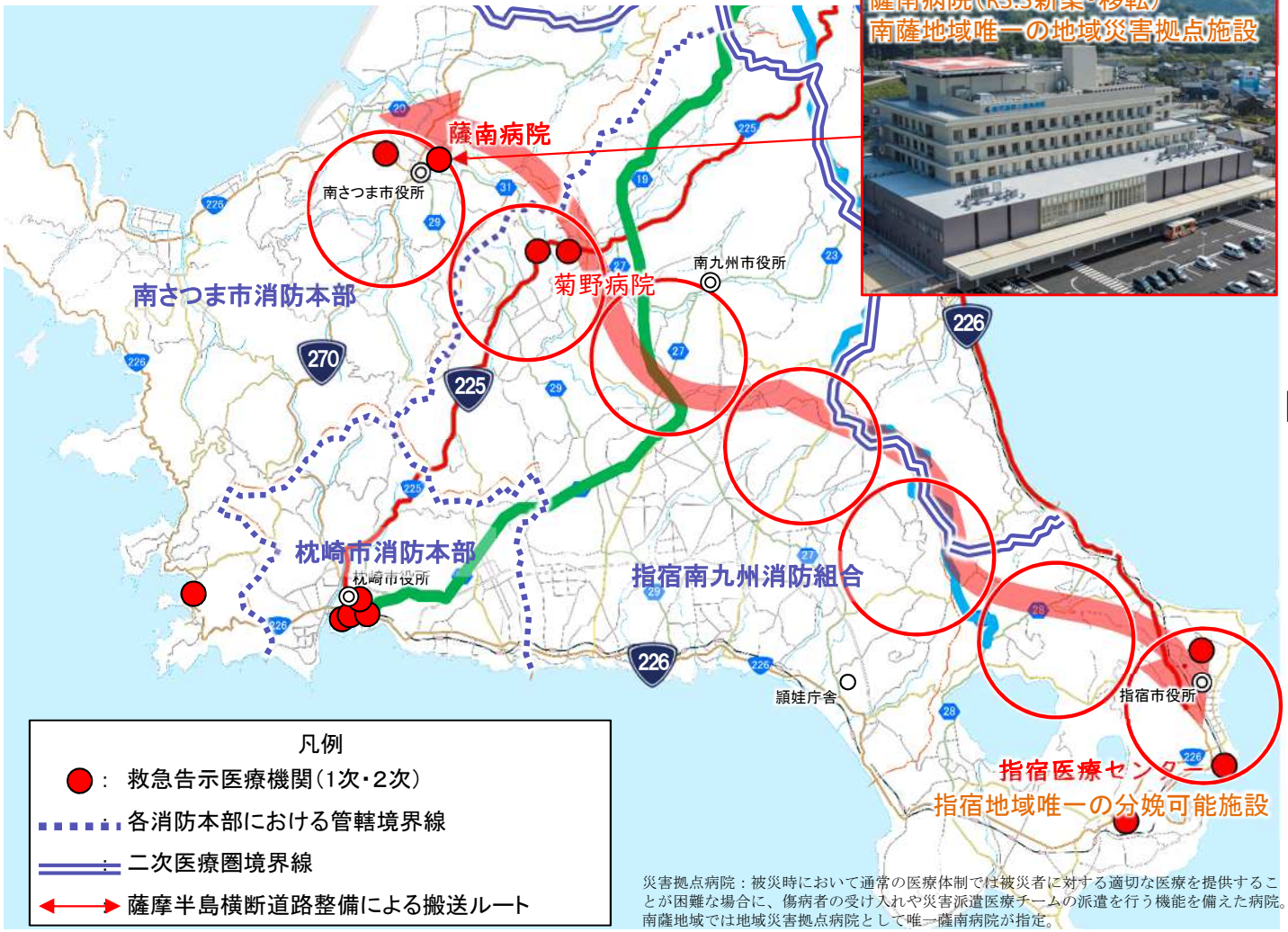
❸砂むし会館砂楽

薩摩半島横断道路において想定される整備効果【救急】

資料－3

○南薩地域は，12施設の救急告示医療機関が立地しているが，病状や該当診療科有無等により市を超えた救急搬送が行われている。
○南さつま市の薩南病院は南薩地域で唯一地域災害拠点病院として指定されており，災害派遣医療チームの派遣を行っている。
○薩摩半島横断道路の整備によって，救急搬送や被災時における搬送所要時間が短縮されることが期待される。

■南薩地域の高齢化率と救急告示医療機関位置図



災害拠点病院：被災時において通常の医療体制では被災者に対する適切な医療を提供することが困難な場合に、傷病者の受け入れや災害派遣医療チームの派遣を行う機能を備えた病院。南薩地域では地域災害拠点病院として唯一薩南病院が指定。

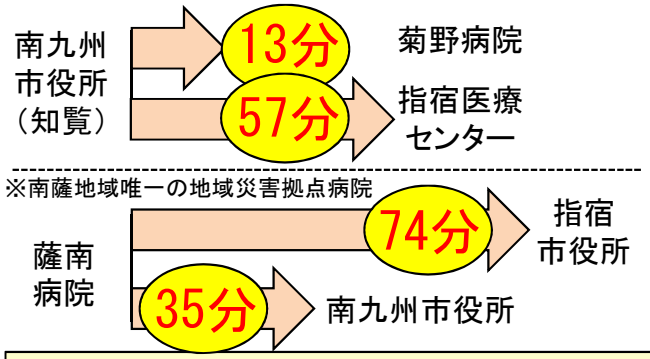
■管轄外地区への救急搬送人数（H29）

単位：人/年

着 ＼ 発	枕崎市	指宿市 南九州市	南さつま市	鹿児島市	その他
枕崎市	578	20	8	8	0
指宿市 南九州市	121	1628	107	79	0
南さつま市	106	153	682	41	20

資料：南薩保健医療圏地域医療連携計画（H31.3）

■南薩地域の搬送にかかる所要時間



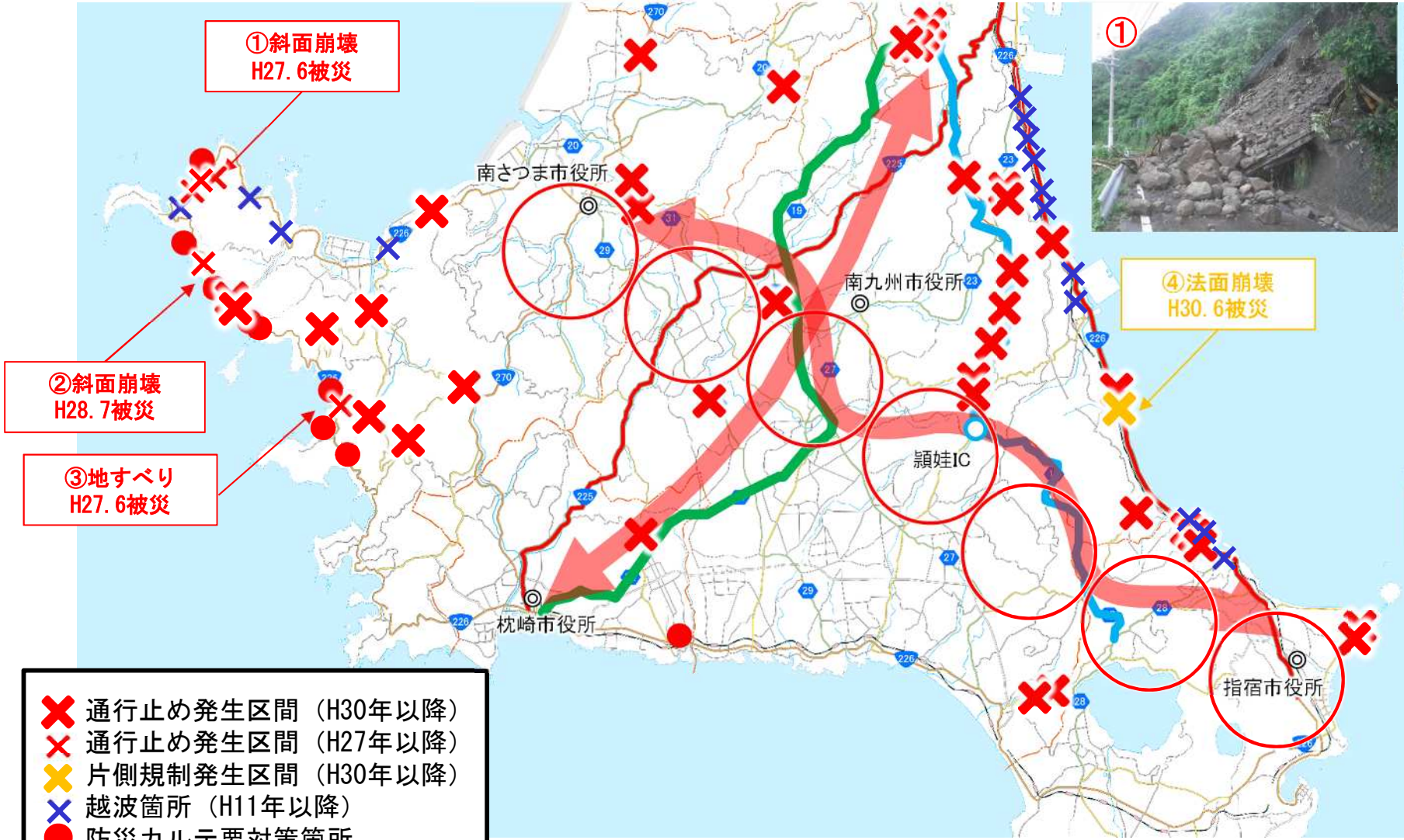
【地域住民の声】
・他の地域に比べ、道路網整備が遅れており、移動時間がかかり、アクセス性が非常に悪い。
・緊急輸送の基軸となる横断道路整備が必要。

薩摩半島横断道路において想定される整備効果【防災】

資料－3

○南薩地域には，大雨による土砂崩れや路肩決壊等により，通行止めが発生した区間が多く存在。特に，指宿スカイラインの頴娃IC以北の区間では大雨や強風による通行止めが多く発生している。

○薩摩半島横断道路整備により，災害時において，通行止めが発生した区間を避けて，南薩地域外からのアクセス及び地域内の各市間の移動が可能となり，避難の円滑化や救助・救急活動，生活支援など防災機能強化が図られる。









今後の進め方

資料－4

○ 今後は，国，県，関係市が連携し，薩摩半島横断道路の必要性等について地域住民の理解が得られるよう取り組むとともに，地域の意見を踏まえながら，「サービスレベル」や「薩摩半島横断道路のあり方」等について検討を進める。



今後の進め方

資料－4

令和3年6月
かごしま新広域道路交通ビジョン・計画策定
● 薩摩半島横断道路を「構想路線」に位置づけ

令和4年3月
薩摩半島横断道路第1回検討会
①検討会規約について
②南薩地域の概要について

令和6年3月
薩摩半島横断道路第2回検討会（今回）
① 南薩地域の目指す姿
② 南薩地域の現状・課題
③ 広域道路ネットワークの現状・課題
④ 薩摩半島横断道路の整備効果

・これまでの議論や地域の意見を踏まえた，「薩摩半島横断道路のあり方」等の検討
・機運醸成に向けた取組